

## 1. 流域及び河川の概要

庄司川は、飯塚市北部笠置山に端を発し、平坦な水田地帯を流下した後、国道211号を横断して、遠賀川左岸に流入する流域面積10.6km<sup>2</sup>、流路延長2.6kmの福岡県が管理する一級河川である。合流点には庄司川排水機場が設置されており、その流域の上流部は山林で、中下流部の平坦な土地は主に水田で利用され、周辺に住宅地が広がっている。

庄司川を含む遠賀川中下流域一帯は、古くから農耕文化が開けた地域で、低地部に居住地が発達したこと及び鉱害による地盤沈下が発生したことから、内水被害が発生しやすい地域特性である。

庄司川では過去及び近年においても、内水氾濫による家屋浸水被害が頻発しており、浸水被害軽減に向けた対策が求められている。

表 1.1.1 庄司川流域の概要

項目	内容	備考
流域面積	10.6km <sup>2</sup>	
流路延長	2.6km <sup>2</sup>	
流域内市町村	福岡県飯塚市	
流域内人口	約 1,100 人	
年平均降水量	約 1,900 mm	飯塚雨量観測所 H21～H30 平均年降水量

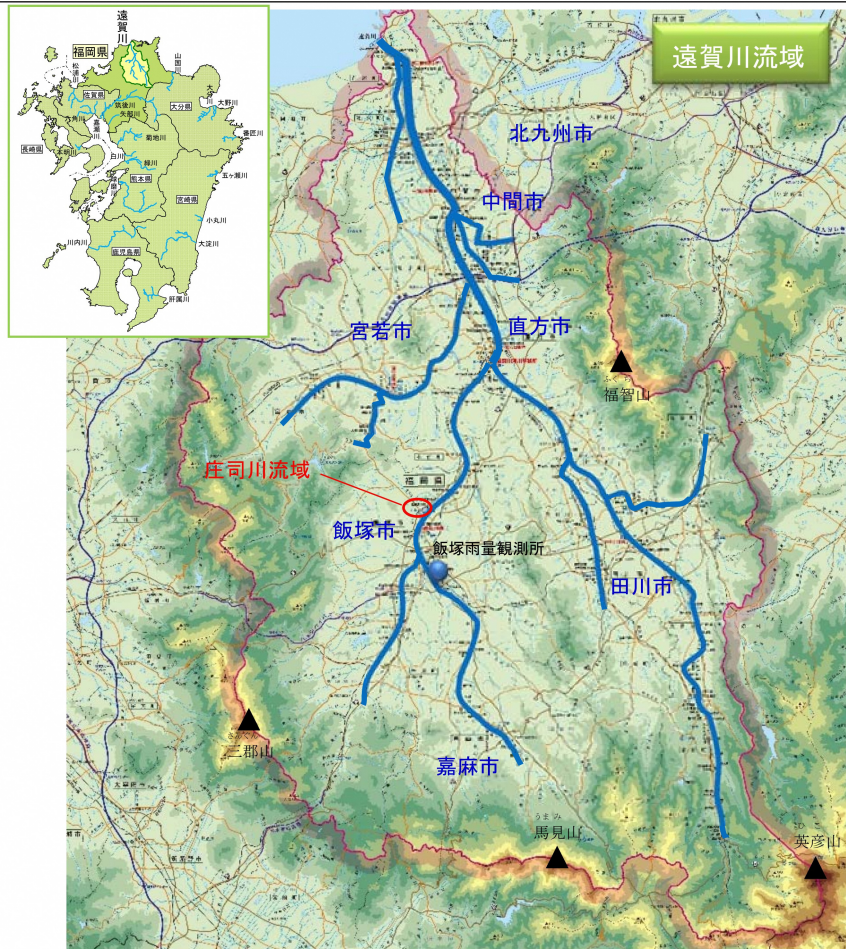


图 1.1.1 遠賀川流域図

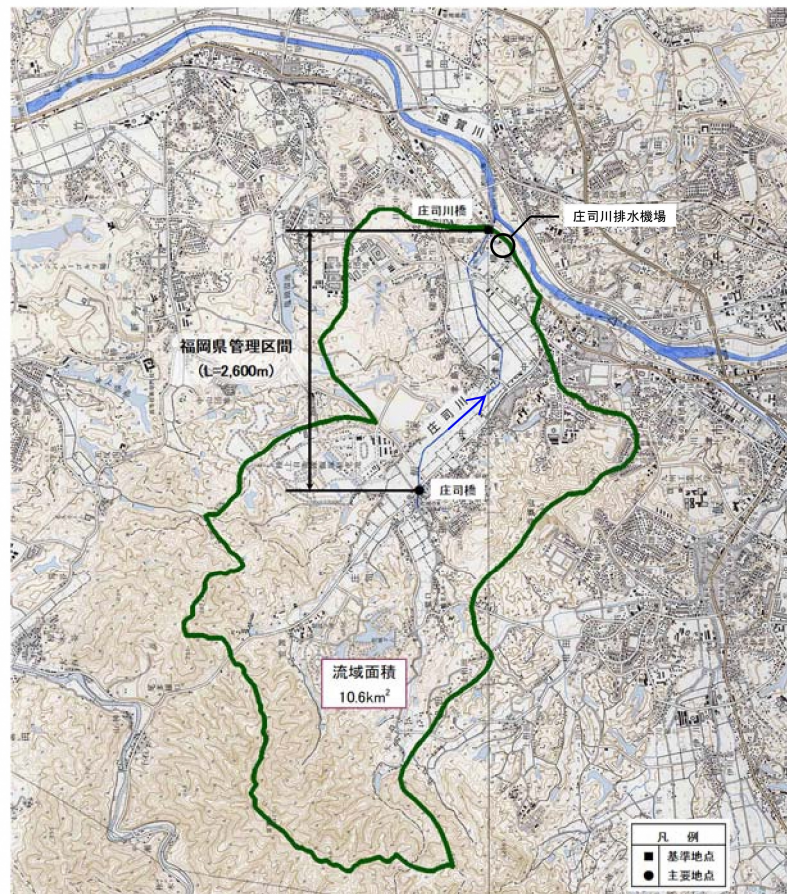


图 1.1.2 庄司川流域図



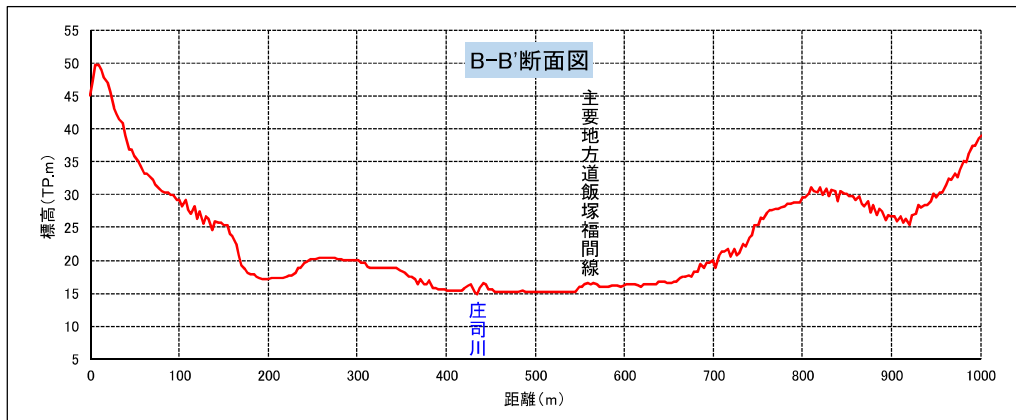
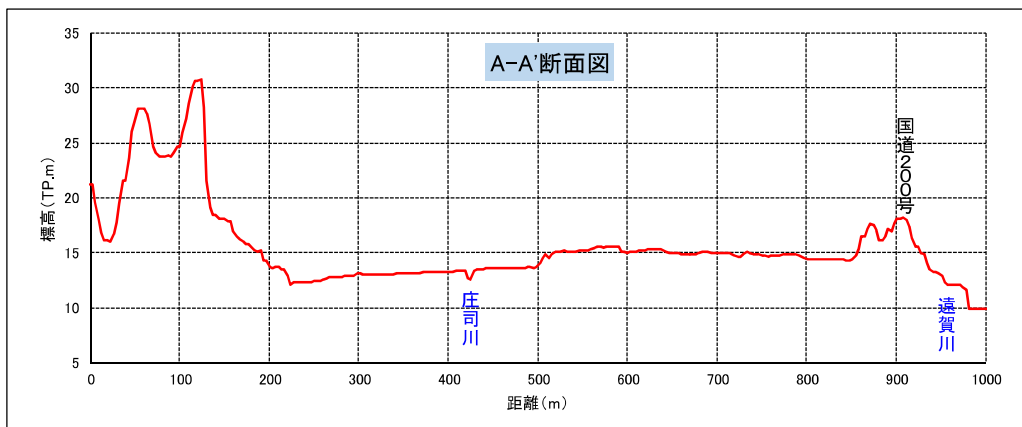
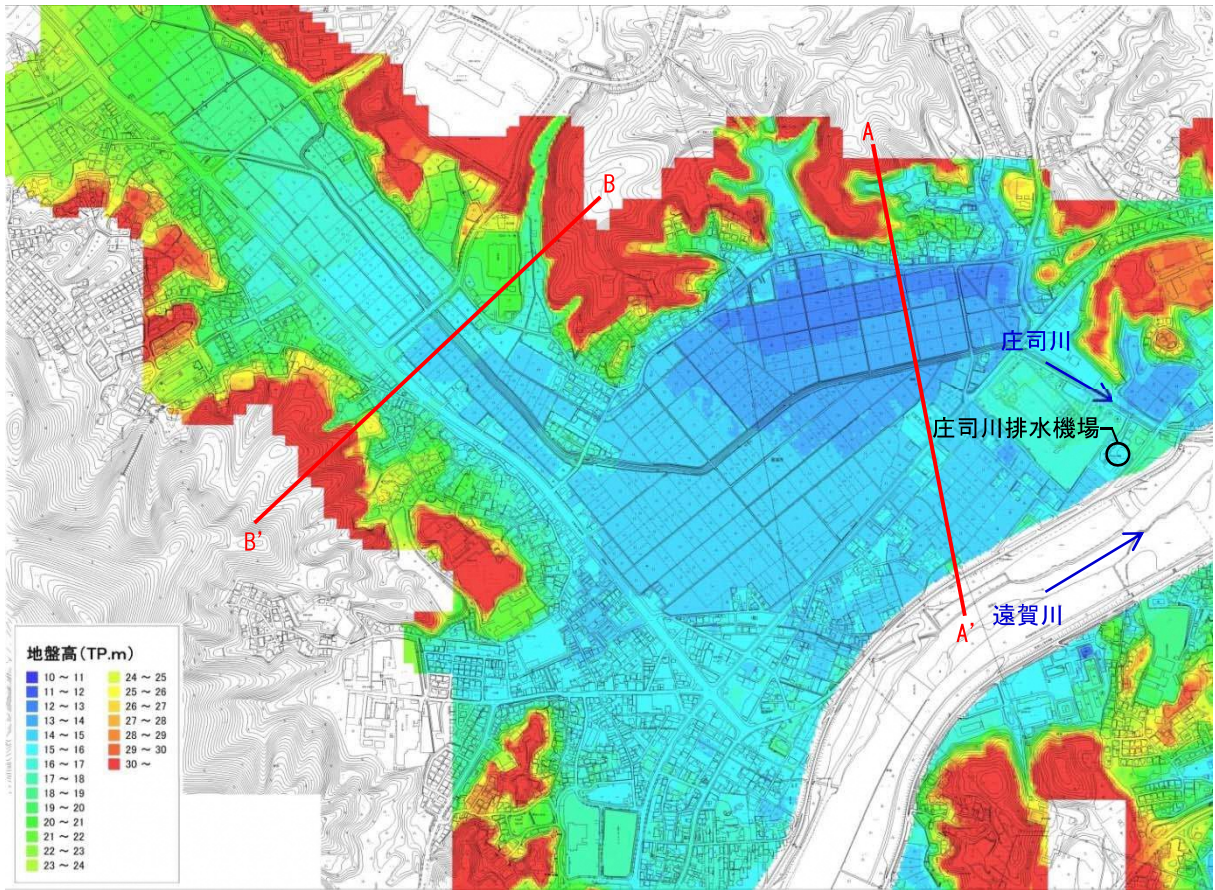
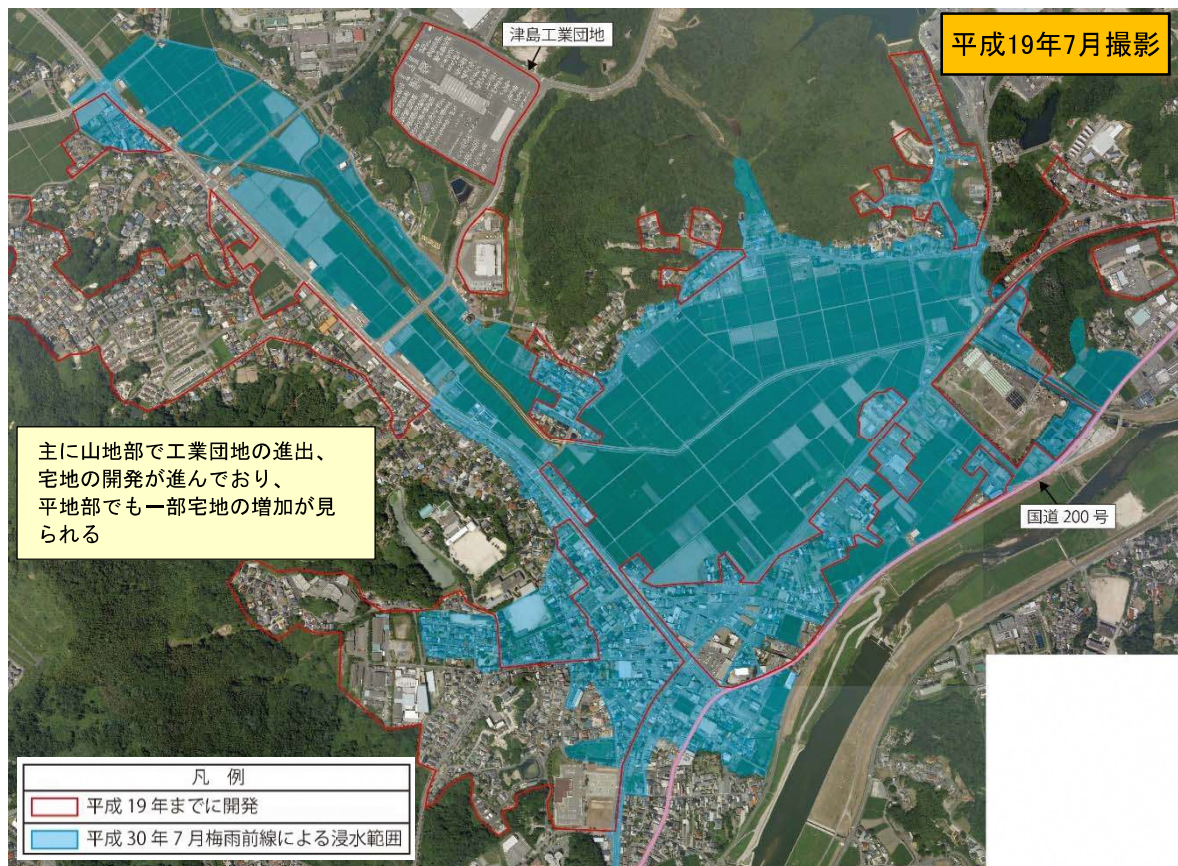


図 1.1.3 庄司川地盤高コンター図





※国土地理院 空中写真に加筆



※国土地理院 空中写真に加筆

図 1.1.4 庄司川流域の土地利用状況の変遷